

## ①羽咋市をより積極的に PR することについて

**【質問】羽咋市がモデルのドラマが放映されるが、利活用の考えは。**

**【市長答弁】**市の知名度等を高めていくための情報発信として、メディアの活用も重要である。まずは、しっかりと地に足をつけ本市の魅力をさらに高めていくことが大切なことであると考えている。がんばる羽咋創生プログラムの施策を実現していく中で、さまざまな機会を通して全国に情報発信していきたい。

**【質問】「孫ターン」のキーワードで羽咋市の記事が Yahoo!トップに掲載されたが、その後の反響は。**

**【市長答弁】**マスコミ等からの問い合わせが 2 件あった。孫ターンをキーワードとした事業も移住支援策の一つとして必要と考えており、今後も効果的な事業を検討していく。

## ②新規就農・移住の促進について

**【質問】自然栽培を始めとする環境保全型農業に対する市内外の方々の反響、特に若い方々の関心をどのようにとらえているか。のと里山農業塾の存在は大変重要だが、さらなる人的支援あるいは今後さらなる予算措置を考えているか。**

**【市長答弁】**若い方々が自然栽培等に関心が高いことについては頼もしいことであり、大きな反響があったとも聞いている。この機会を逃すことなく、全庁挙げて積極的な移住者の受け入れに向けた取り組みを進めていく。自然栽培普及活動として地域おこし協力隊 1 名を配置し、普及活動や農地確保を行っている。今年度より JA はくいと意見交換会を行っており、今後も定期的に開催していく。

**【産業建設部長答弁】**ご意見や要望についてはさまざまなケースがあり、柔軟に対応していく必要があると認識している。受け入れる地元の方々にも自然栽培普及に対し理解を求めていくが、水の管理や道路の維持など地域のルールがあり、調整が必要となってくる。きめ細やかな対応で新規就農者の希望をかなえることで好循環につなげていく。

**【質問】空き農地・空き農家情報バンク制度は、セットを前提とした制度だが、農地だけでも情報の受付・提供ができないか。市民農園の拡充の考えはあるか。**

**【市長答弁】**今年度より空き農地斡旋助成金制度を立ち上げ、農地のみ受付、提供を行っている。制度においては、各町会に概要をお示ししている。農地を登録するだけでは管理不足により農地の

荒廃が進捗するおそれもあることから、就農希望者の要望等を確認しながら運用していく。市民農園は市民からの要望があることは把握している。今後、邑知の郷公園のさらなる有効活用を初め、他地域においても検討していく。

**【質問】移住者の方が時間をかけて地域に徐々に溶け込んでいき、信頼を得ていくためには、その土地に関するさまざまな情報や、各方面のネットワークを持ち、相談に乗ったり世話をしてくれる世話人のような存在が必要であるが、市としての考えや留意は。**

**【市長答弁】**移住者が地域に溶け込み、信頼を得て良好な関係を築くことは、移住者にとっても地域にとっても重要なことと考えている。移住者が転入した後のアフターフォローも大変重要である。国の特別交付税措置のある集落支援員制度を活用し、お世話いただける町会の方々の協力を得ながら移住者の定着を図っていく。

## ③職員の方々の今後の事業の関わり方について職員の人材育成および意識について

**【質問】部制が実施されて 2 カ月が経つが、従来の課の垣根を越えた連携・協力体制について、変化や効果をどのように認識しているか。また、各職員の意識、情報共有、協力体制等を含めた、今後の人材教育・人材育成の方針を具体的に。現在の人事制度や採用制度を、次の世代、未来の世代を見据えて見直す必要はないか。特に、やる気と能力のある若い職員が、年齢を理由になかなか上に上がれないということはないか。**

**【市長答弁】**毎月の部課長会議に加え部内の各課長による部内会議を設け、情報共有や課題解決に向けた連携強化が図られているものと考えている。人事制度は、常に時代に即した人事制度改革を行い、職員のやる気ややりがいにつなげていくことが大切であると考えている。若手職員の登用については、5 年単位での年平均の登用人数で比較すると増加している。今後もやる気のある若手職員を積極的に登用したい。次の世代に多様な専門知識や経験を継承することが重要であり、再任用制度を活用した組織力の向上も必要と考えている。採用制度については、候補者試験を前倒しすることにより、これまで以上に優秀な人材の確保に努め、本気で本市で働きたい職員を採用していく。

**【総務部長答弁】**今年度からの職員研修は、座学研修から政策実践研修に移行し、内部研修の充実を図っていく。時々の行政課題に直結した政策課題実務研修を進めることで、地方創生を担う人材の育成に全力で取り

組んでいく。

**【市民福祉部長答弁】**

市民の皆様が来られる窓口であるということから、求められる職員は、①お客様のご用件に的確、迅速に対応し、信頼される職員。②お客様のお気持ちに寄り添い、笑顔で挨拶やお答えができる安心される職員。③上司や同僚との間で円滑な人間関係を構築でき、チームワークを大切にする職員と考えている。

**【産業建設部長答弁】**

部内会議で各課の課題等について情報の共有を図っており、課の垣根を越えた協力体制をとっている。防災対応に迅速な行動がとれる人材育成も進め、部を挙げて万全の体制を整えていく。

## ④将来の羽咋市のための新たな取り組みについて

**【質問】医療や介護が大切なことは言うまでもないが、最も大切なことは、そもそも病気になること、予防である。中でも体を動かすこと、人とコミュニケーションをとることが予防につながる。65 歳以上の市民が市内の介護保険事業所でボランティア活動に参加した場合、換金可能なポイントを付与するボランティアポイント制度が全国約 200 の自治体で取り入れられている。本市においてもこういった制度の実施を導入できないか。**

**【市長答弁】**高齢者の社会参加や社会的役割を持つことは生きがいや介護予防につながるものであり、また、高齢者が高齢者の支え手として活動することは、地域におけるつながりを構築できる点でも重要であると考えている。各種団体が行っているボランティア支援の取り組みや先進自治体における活動内容などを勘案し検討する。

**【質問】優れた教育、先進的な教育を行う地域は、子を持つ親、持とうとする親にとって、住み続けよう、あるいは移住しようとする強い動機にもなり得る。もし市内の学校から、アクティブ・ラーニングおよび ICT 活用の一環として、タブレット端末を使った授業の導入を希望する声が上がった場合、市としてそれを支援していく考えは。**

**【教育長答弁】**県の委託事業である能動的学習推進事業の推進校として羽咋小学校が指定を受けている。体験学習、調査学習及びグループワーク等を取り入れた授業を積極的に実施することにより、アクティブ・ラーニングを推進することや ICT を活用した授業を積極的に実施する。既存のパソコンやプロジェクター、デジタルカメラ等の ICT 機器を活用しながら研究の推進を図っていく予定だが、研究を実施していく上で、タブレット端末などの ICT 機器の必要性が出てきた場合には、できる限りその要望に応え、予算要求をしていく。